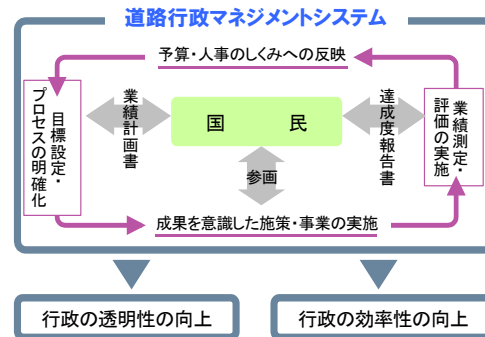


道路行政マネジメントの取り組みについて

道路行政マネジメントについて

◆道路行政マネジメントシステムの浸透から定着へ

- 従来の「事業量」に重点を置いた計画策定から、「達成される成果(アウトカム)」を目指す事業計画の策定へと転換します。
- 平成15年度より業績計画を策定し、平成16年度より達成状況を報告しています。
- これらの結果を次の予算に反映させ、道路行政マネジメントシステムを展開します。
- 今後、同システムのさらなる浸透・定着を図ります。



本資料の流れ

1. 茨城県の道路整備状況

平成16年度に実施した施策・事業および現在進めている事業を紹介

2. 茨城県の概況と課題

茨城県の道路交通を取り巻く状況と課題について解説

3. 平成16年度 達成状況の報告

昨年度策定した成果目標の達成状況を報告、評価

4. 平成17年度 業績計画

本年度設定したアウトカム指標について、成果目標を策定

5. 中期的な目標

昨年度の業績計画で提示していたアウトカム指標のうち、中期的な目標となる平成19年度の目標値を提示していたものを整理

本資料について

- 道路行政マネジメントシステム導入3年目を迎え、道路利用者や地域の人々がより理解しやすい達成状況の報告、成果目標、事業計画について整理したものです。
- 「達成状況の報告」では、平成16年度の事業実施を踏まえ、目標値に対する達成状況の報告および評価を行い、行政の効率性・透明性の向上を図ります。
- 「業績計画」では、平成17年度の成果目標、事業計画を提示します。これらの目標は、平成18年度の「達成状況の報告」において評価を行います。

